

石狩市学校間連携会議の予算要望のとりくみ

はじめに

この報告は、10月23日の石教研二次集会における石狩市の発表中、予算要望のとりくみに係わる点について、特別に報告するものです。

紙面の関係で、この報告ではとりくみの概要のみ報告をします。詳しい資料は、石狩市学校間連携会議ホームページ（試験運用中）<http://irenkei.turukusa.com/index.html> にアクセスをし、活動報告> 予算要望 「09管内研独自レポート別紙資料」ファイルを参照してください。

1. 今年度の予算要望のとりくみに当たり、平成13年度要望から昨年度要望までの「部会」としての要望内容がどうであったか調べてみました。その結果
 - ①石狩市では、平成15年度要望までは、20ページ前後の資料が作成されていた。
 - ②しかし、平成16年度要望から突然1ページとなり、以降3～7ページの資料となっている。学校ランキング表に形式が変わったためか？
という状況を確認できました。
2. 次に管内各市町村の要望書の現状についても聞いてみました。（当別・新篠津は聞きませんでしたすみません。）
3. 今年度の基本方針を次のように決定しました。
 - 1) 決算予算調査及び徴収金調査に基づき要求内容を決定し資料作成を行う。
 - ①決算予算調査で、各学校の印刷関係費の割合を提示。
 - ②徴収金調査で、当面市費での措置を求める項目と金額を学校ごとに提示。
 - ③消耗品費以外の配分予算については、さらに実態把握をして必要なら提示。
4. スケジュールと具体的調査項目は、財政グループ会議で検討を加えた結果、何点かの修正を加えたものを最終案として連携会議全体会で確認しました。
5. 夏休みをまたいだ作業を経て、予算要望委員会に提出する資料が連携会議全体会に提案されました。そこで提案された内容について、次の「6」のように修正を加えました。（ブリーフケースの 学校間連携会議> 会議資料 フォルダの「第4回連携会議報告」を参照してください。）
6. 今年のとりのくみを終えて
 - (1) 事務局原案に対して出された意見について、以下の通り確認した。
 - ①「保護者負担軽減のための増額要望」について、要望額を計上できない（又はし

ない) 学校があることに対し、学校間の較差に係わっての説明が困難であるとの意見が出された。

- ②「新指導要領への移行に伴う増額要望」について、上記と同様、要望額を計上できない(又はしない)学校があることに対し、学校間の較差に係わっての説明が困難であるとの意見が出された。

以上の点について、全体で討議し、次のように修正することを確認した。

1. それぞれの要望事項については、学校種別毎に提出された要望額の合計額のみを記載することとし、その基礎資料については削除する。
 2. 削除された資料は、次回予算要望時に全ての学校が統一した要求を行えるよう、論議を発展させるために活用する。
 3. 予算要望委員会に提出する資料については、事務局で修正をおこない、連携会議役員の上承を経て、提出する。
- (2) 今年のとりのくみについては、第5回連携会議で反省評価(個人意見は集約中)の提案を行った。石狩市学校間連携会議ホームページ(試験運用中)の活動報告>「第5回連携会議」ファイルをご覧ください。(集計結果の掲載は後日となります)